

外来診療一覧表

平成 25 年 8 月 15 日現在

	診療科目	月	火	水	木	金	受付時間
一般外来	脳神経外科	植村			植村		7:30～11:30 ※急患については 24時間対応
	外 科		原田			原田	
	整 形 外 科	大江・堀内		堀内・前川		大江・山田	
	循 環 器 科	境野		境野・中村		境野	
	消化器内科			坂井	平岡・杉原		
	代 謝 内 科	平島			平島		
	放 射 線 科		猪山				
	泌 尿 器 科	松永	佐藤				
小児科外来	小 児 科	塵岡 石津	塵岡 辛嶋	辛嶋 塵岡	石津	塵岡 辛嶋	8:00～11:30 13:45～16:00 ※急患については 24時間対応
特殊外来	呼吸器内科	毎週 金曜日 [9:00～15:00] 毎月第 1 木曜日 [14:00～17:00]					8:00～11:30 予 約 制
	神 経 内 科	月 4 回 土曜日					
	リウマチ膠原病科	月 1～ 2 回 土曜日					
	消化器内科	月 2 回 土曜日					
	パーキンソン外来	月 1 回 土曜日(再診のみ) 後藤					
	内 科	月 1 回 土曜日(再診のみ) 有富					



一般社団法人 天草都市医師会立 天草地域医療センター

院長 原田 和則

〒863-0046 熊本県天草市亀場町食場854番地1

TEL 0969-24-4111 (代表)

FAX 0969-23-4086 URL <http://www.amed.jp>

あまいせ便り

天草地域医療センター広報誌

2013. August

vol. 2

【編集・発行】
天草地域
医療センター
新聞広報委員会



ごあいさつ

院長 原田 和則

医療センターの裏山からは蝉時雨が降り注いでおります。暑い夏を逆手にとって大きな楽しみに換えようと、本渡地区では今年も「天草ほんどハイヤ祭り」が開催されました。10,000発の花火が夜空に舞い、8月3日のハイライトでは「天草ハイヤ道中総踊り」が街中を練り歩きました。医療センターも例年100名を超えるチームで威勢良く参加させてもらっております。職員が自発的に振付や衣裳などを考案して、それぞれの部署間を越えて企画・練習し、大きな連帯感をもって踊り明かしてくれました。

このような熱い心を持った職員たちがいてくれるこそ、医療センターの21周年を祝うことが出来るのだと感謝しております。これらは医師会の先生方、地域住民の方々の絶大なご支援やご協力の賜物であることは勿論のことでございます。それとても医師、看護師をはじめとした医療職、下支えをしてくれる事務職員、すべての職員が一体となって「わたし達の（うちの）病院」（"この病院"という感覚ではない、いわゆる当事者意識の高い愛社精神?）という前向きな意識をつよく持ちながら、日々働いてくれてこそいただけるご支援と承知しております。わたしは常々、職員一人一人のモチベーションの維持・高揚を大切にしていくことが、結果として地域住民の方々の健康としかあわせのために胸を張って頑張っていける職員を育てる大きな要素ではないかと思っております。

さて医療センターでは、関係各位の多大なご支援のおかげをもちまして、節目となる大事業「新外来棟建設・ヘリポート設置」がついに完成致しました。従来から外来の待合いが狭隘で診察室も少なく、日常の診療にも事欠く状況で、受診の方々には大変なご不自由とご迷惑をおかけしてまいりました。新外来棟では広く明るい待合いとプライバシーを考慮しながらも機能性を重視した診察室の配置、心大血管リハビリ室も加えたリハビリ部門、近年需要が急増している外来化学療法室の拡

充、各種チーム医療（NST、緩和医療、感染対策etc）のための事務スペース等々を設けることが出来ました。救急部門の拡充や屋上には医療用ヘリポートも設置され、天草医療圏の救急医療にもさらに貢献できるものと思っております。

これからもやさしく、しかも質の高い医療を提供出来ますように職員一同精進しながらも、地域の方々に愛される医療センターでありたいと願っております。まだまだ課題の多い状況ではありますが、それはそれとして明るく進んでまいります。みなさまにも医療センターを今後ともよろしく願い申し上げます。



外来棟・ヘリポート新築工事回顧録

秋風が心地よい晴天の平成24年10月4日(木)に外来棟・ヘリポート新築工事安全祈願祭を挙行了しました。(工事期間は、平成24年10月1日～平成25年7月31日)

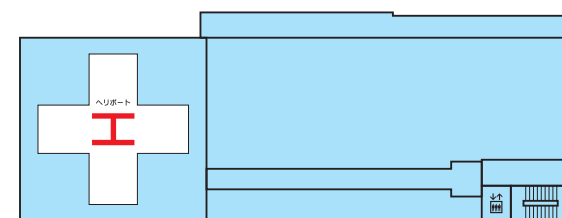
毎週木曜日現場事務所において、古川建築事務所・エアロファシリティ・大成・吉永企業体との会議が持たれました、病院からは院長・副院長・事務部が出席し第1回～第39回まで色々な中身の濃い会議を実施しました。

幸い天候にも恵まれ順調に工事は進みました。会議では並行して患者さん・付添の方の使い勝手、医療スタッフ・コメディカルの動線を重点的に考え細かい打ち合わせを行いました。

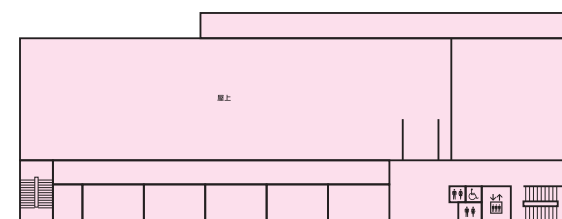
また感染対策の観点からドアノブの形状・色、手洗い水栓の形状まで、隅々までこの会議にて決め、さらに頻繁にヘルメットを着用し現場廻りした際、図面上では気づかなかった部分もあり部屋の拡張など随所に変更を施しました。

一番神経を使ったのが本館との繋ぎこみの時でした。いかに外来診療・入院患者さんへご迷惑をお掛けしない様、院長以下細心の打ち合わせを実施した事でした。

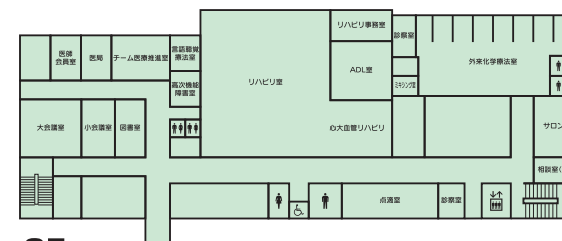
7月31日予定通り、無事完成引き渡し式が医師会長他出席の上行われ、8月17日記念式典の運びとなりました。



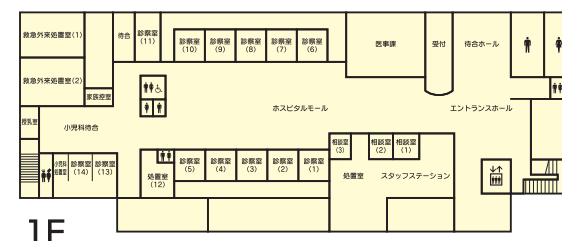
PH



3F



2F



1F

外来棟の特徴は、1階は広い玄関より入ると、広々としたエントランスホールがお出迎えし、待合ホール・ホスピタルモールは解放された空間で171席、相談室3室、診察室はプライベートを確保し13室、救急外来2室設置。スタッフステーション・処置室も広い空間を確保しています。

2階は外来化学療法室・サロン、点滴室、広々としたリハビリ室(今回心大血管リハビリ及び高次機能障害室を新設)管理部門も充実したものとなっております。

3階は管理部門、PH階はヘリポートとなり夜間照明も整備(防災ヘリ・ドクターヘリ・海上保安庁ヘリ等受け入れが可能)

8月26日使用開始に向け、なお一層のより良い医療のサービスを目指し全職員で準備に邁進しております。

文責/田中 一毅

【新外来棟・ヘリポートの概要】

PH	ヘリポート
3階	多目的室等
2階	外来化学療法室・リハビリ室・点滴室・管理部門
1階	外来診察室12室・救急外来2室・感染症室1室 医事外来部門・相談室3室・スタッフステーション・処置室等

新外来棟・ヘリポート完成!



ヘリポート



1F スタッフステーション



1F 医事課



1F 総合受付

1F 総合案内



1F ホスピタルモール



2F 外来化学療法室



2F サロン



2F リハビリ・心大血管リハビリ室



◆診療科のご案内

脳神経外科

脳神経外科は植村総院長、吉川、藤本の3名で診療にあたっております。脳神経外科疾患は、脳内出血、脳梗塞、頭部外傷など救急医療を要する疾患が多くを占めていますが、救急医療に対しては、常に緊急手術や脳梗塞に対するt-PA治療が行えるよう取り組んでおります。ほかにも脳腫瘍や機能的疾患、頸椎症に対しても手術を行っております。

超高齢の患者さんや、状態の厳しい患者さんも増加しておりますが、諦めない医療を心がけております。『天草全土の急性期脳疾患患者は全て当科で診る。』をモットーに24時間、365日、対応できる体制をとっております。

特別な治療(脳血管内手術)を要する場合は熊本大学と連携を、また特殊な神経疾患(変性疾患)に対しても神経内科専門施設と連携をとり治療を行う支援体制が整っております。脳神経外科学会にも積極的に参加して、最新の治療法の取得や学会発表を行ったり、また定期的に近隣の医療機関の医師と神経放射線カンファレンスを行い、症例検討を行うことで、常に高品質の医療を患者様に提供出来るよう努力しております。

外 科

院長以下6名のスタッフで消化器外科(食道、胃、大腸、肝、胆、膵疾患)、呼吸器外科(肺癌、気胸等)、内分泌外科(乳腺、甲状腺等)一般外科(ヘルニア等)などの多領域にわたり外科全般の診療を行っております。近年は年400件程度の手術症例でしたが、24年はやや少なく352件でした。

がん診療拠点病院でもあり、癌手術は131で食道癌 胃癌や大腸 直腸癌、乳癌、甲状腺癌、肺癌等の他に、進行癌の多い肝胆膵領域癌にも23症例に手術が可能でした。最近注目され、次第に適応が拡大している鏡視下手術に対しても今後力を入れていこうと思っているところです。がんの診療は外科治療に限らず、抗癌化学療法や緩和医療も重要な領域です。今般、新外来棟二階に広くゆったりとした外来化学療法室を移転し、快適な環境となりました。

開放型病院としても、患者さんに最良の治療ができるように医師会の先生方とのしっかりとした連携を維持できるよう努力しています。そんななか、外科手術の44%は緊急手術でもあり、内視鏡(GF,CF,ERCP)や超音波(頸部、乳腺、腹部)なども内科と連携しながら頑張っておりますので、スタッフは昼夜を問わず忙しく頑張っているところです。

天草の地域的特徴としては、ご高齢の患者さんが多く、相互理解、信頼を重視ながらもそれぞれの患者さんの病態に応じた最良の治療法を選択するように心がけています。

■外科関連の学会認定施設

日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医制度修練施設

日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設

日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本乳癌学会関連施設

日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム稼働認定施設

日本静脈経腸栄養学会実地修練認定教育施設

日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設

整形外科

現在4名のスタッフで日常診療にあたらせてもらっております。(月)(水)(金)の午前中を通常外来と定めています。定期の手術日は(木)ですが、他科の手術が入っていない時間を選び随時行っています。

手術症例は現在年間600例前後で推移しています。高齢者の大腿骨転子部、頸部骨折、各種外傷の治療から股関節、膝関節等の変性疾患に対して人工関節置換を行い除痛をはかる等多岐に渡るオペを行っています。特に高齢者の大腿骨近位部骨折に関しては、麻酔科の先生のご理解もいただき準緊急手術と位置付け観血的加療を積極的に行っています。脊椎外科に関して当院では、頸椎は脳外科で行っていますが、当科で扱うべき胸腰椎の手術は専門医が不在と言う問題もあり、熊本市内や八代市の先生へお願いしているのが現状です。

救急や緊急オペに対して休日でも24時間対応出来るように常時2人体制でローテーションを組んで対応しています。

整形外科の取り扱う疾患は多岐に渡りますが、地域の先生方との連結を大切に迅速な対応を心掛けております。外来時間外は、スタッフの調整行い患者さんの診療に当たるため電話連絡を頂けると助かります。今後ともよろしくお願い致します。

消化器内科

消化器内科は、土曜日特殊外来として、熊本大学消化器内科から非常勤の派遣が始まり、現在も特殊外来を継続しながら、常勤医を平成21年4月より派遣を開始しました。1年目は2人体制でしたが、平成22年からは3人体制となり、現在に至っています。診療内容は、消化器疾患を外科と連携し全般的に行っています。

消化管は、上下部内視鏡検査・NBI拡大内視鏡検査により消化器癌、胃十二指腸潰瘍、炎症性腸疾患等の診断並びに治療を行っています。大腸ポリープ切除や早期の食道癌・胃癌・大腸癌に対しては内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)や内視鏡的粘膜切除術(EMR)などの内視鏡的治療を積極的に行っています。食道静脈瘤に対し内視鏡的硬化療法(EIS)や内視鏡的静脈瘤結紮術(EVL)を行っています。

肝疾患については、C型慢性肝炎に対しペグインターフェロン、リバビリン併用療法やプロテアーゼ阻害剤を併用した3剤併用療法などの抗ウイルス療法を始め、B型慢性肝炎はインターフェロン療法や、核酸アナログ製剤による治療、肝細胞癌に対し診断や治療(分子標的治療薬(ソラフェニブ)や肝動脈塞栓療法(TAE))を放射線科と協力し行っています。

胆道・膵疾患に対して内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)を行い、膵癌や胆道癌の診断や内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)をおこない、採石術や減黄術を行っています。経皮経肝胆道ドレナージ(PTCD)、メタリックステント留置術も行っています。

以上のように、消化器疾患を全般的に行っています。外科とも密接な連携をとることで、患者様が、より安全に、そして、より安心して治療を受けて頂けるよう心がけ、頑張っていきますので、これからもよろしくお願い致します。

麻 酔 科

麻酔科部長の田口裕之です。現在常勤は私が1名です。手術麻酔は月から金曜日の日勤帯は熊本大学附属病院麻酔科から日替わりで麻酔科専門医クラスの先生が派遣されて手術麻酔を行っています。また週末も月に2～3回、大学や麻酔科同門の先生の応援を頂きながら、24時間麻酔科待機態勢の維持に努めています。以前の麻酔科医の常勤3名の態勢から現在の状況になっていますが、平成24年度の手術件数は1289件、麻酔科管理症例数は1,048件とさほど減少せずに、また緊急手術に対して遅滞は生じずに対応していると考えます。しかしペインクリニックや集中治療等の麻酔科が以前関与していた分野の診療が出来ない状況にあります。また病院当直も免除して頂いています。現在手術麻酔に特化して診療させてもらえる分、各科の先生方や天草医師会の諸先生に負担がかかっていると思うと恐縮です。私1人で出来る仕事は限られていますが、目の前に居られる患者さんのために、出来る仕事をさせて頂きたいと考えています。

循 環 器 科

- 【施 設 認 定】 ●日本循環器学会認定研修施設
●日本心血管インターベンション治療学会認定研修関連施設
●日本不整脈学会認定研修施設
- 【主な診療内容】 ●外来診療：月、水、金 午前中（受付午前7時30分～午前11時30分） ※急患は常時対応
●心臓カテーテル検査、治療：火、木曜日 ※急患は常時対応
（PCI、PTA、カテーテルアブレーション治療など）
●ペースメーカー植え込み：曜日指定なし
●ペースメーカー外来：毎月第2水曜日（受付：午後0～3時）
- 【モ ッ ト ー】 ●患者さん個々の病態、背景に合った、最良の医療の提供を心がけています。
●最先端、最新の医療知識、技術の習得を心がけています。
●救急患者さんへの迅速・的確な診療を心がけています。

泌 尿 器 科

当院泌尿器科は二人体制で、泌尿器科全般と血液浄化療法を担当しております。泌尿器科手術は膀胱癌や前立腺肥大症、尿路結石に対する経尿道的内視鏡手術、前立腺癌や膀胱癌などに対する開腹手術を行っています。また、2年前から腎・副腎に対しては腹腔鏡手術を導入し、順調に症例数は増えております。非常に小さな創で手術が可能になり、疼痛も少なく術後の回復も早くなっております。平成23年度の泌尿器科手術件数は169件で、年々増加傾向にあります。その他に前立腺癌疑いに対する前立腺針生検も行っています。

透析関係では内シャント造設術や人工血管留置術だけでなく、シャント狭窄・閉塞に対するPTAも積極的に行っております。血液浄化療法は当院が急性期病院であるため、透析導入やCHDF、エンドトキシン吸着などの急性血液浄化を主に施行しております。

代 謝 内 科

代謝内科は、平成6年4月から城谷哲也医師が外来診察を開始し、平成8年4月から佐藤佳宏医師が常勤医師となりました。平成15年11月から佐藤先生に代わり、私が赴任し、10年になります。現在天草地域の患者のために、以下のことを行っています。

- ① **糖尿病地域連携**
現在50名以上の糖尿病連携患者がいます。来年度からはカルナを使った予約システムを導入予定です。
- ② **糖尿病療養指導委員会とスタッフの育成**
糖尿病療養指導士も15名となり、来年には糖尿病認定看護師が新たに加わります。
- ③ **外来インスリン導入と妊娠糖尿病の管理**
テラーメイドの糖尿病指導、スムーズな外来インスリン導入、妊娠糖尿病患者の管理も行っています。
- ④ **糖尿病教室と市民講座**
年間10回の糖尿病教室を開催し、うち年1回は保健所、天草市、天草地域の医療施設と協同で市民講座を開催しています。
- ⑤ **天草糖尿病ウォークラリー開催**
糖尿病啓蒙活動の一環として平成17年から秋に開催しています。
- ⑥ **無料血糖測定と健康相談**
天草市の健康フェスタ（年3回）で、無料血糖測定と健康相談をしています。
- ⑦ **糖尿病無料出前講座**
市民、事業所、医療施設の希望に応じ、無料で出前講座を行っています。
- ⑧ **糖尿病ネットワークセミナー**
医療従事者向けに、年18回糖尿病のセミナーを行っています。
- ⑨ **多職種合同ワークショップ**
薬剤師会と共に、年に2回多職種（学生、事務職、介護職、看護師、薬剤師、栄養士、医師）合同ワークショップを開催しています。
- ⑩ **天草キリシタン館ブルーライトアップ**
毎年11月14日を含む糖尿病週間の1週間、天草キリシタン館をブルーにライトアップしています。
- ⑪ **天草生活習慣病研究会**
医師会の先生方と共に、年数回著明菜先生方をお招きし、開催しています。
- ⑫ **ホームページの開設**
ホームページを開設しました。天草地域医療センターのホームページとリンクしています。
- ⑬ **感染症対策**
院内と天草地域の感染対策を保健所や天草地域の病院と連携しながら、実践しています。また感染症の講演も開催しています。

小 児 科

3名のスタッフで日常診療を行っております。当科は天草医療圏の中核的な役割を担っており、救急疾患や慢性期疾患に対応しています。急性期疾患としては感染症、神経疾患（てんかん、熱性麻痺等）、腎疾患（学校検診、ネフローゼ等）、心疾患（先天性心疾患など）、内分泌疾患（低身長、クレチン症等）、血液実感（血小板減少性紫斑病、血有病等）、を診ており、慢性期疾患に関しては、糖尿病や在宅医療の必要な患児、NIGUからの児を主に診ております。当科は紹介型であるため地域の先生方のご協力によって成り立っており、大変感謝しております。天草小児医療の中心として期待に応えられるよう努めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

放射線科

放射線科の仕事は多種多様の医療機器および検査技術を用いて画像を描出し、放射線科医が画像診断をして依頼科に報告すること、IVR 治療などです。

・CT 検査

CT とは、コンピューター断層撮影法（Computed Tomography）の略です。X 線を照射し、通過した X 線量の差をデータとして集め、コンピューターで処理することによって身体の内부를画像化し輪切りの画像を撮ることが出来ます。当院は九州でもっともはやく 256 列 CT を導入した病院であり、低電圧撮影を用いた腎機能障害に対する造影剤減量のプロトコルをいち早く提唱し、日常的に行なっている病院です。

・MRI 検査

MRI（磁気共鳴画像装置）とは Magnetic Resonance Imaging の略で、非常に強い磁石と電波を利用して体の内部の状態を検査します。このことにより X 線被曝することなく検査できます。また非造影でも血管を描出することが可能です。当院は九州で 3 番目にデジタルコイルを用いた 3T MRI を導入した病院であり、共同研究契約を締結しているため、通常の病院ではできないような特殊な撮影法も可能になっています。

・IVR 治療

血管内にカテーテルと呼ばれる細い管を挿入して、その先端から造影剤を血管内に注入し目的とする病変部位血管をエックス線で撮影することで、診断・治療を行う検査です。上記の 256 列 MDCT を組み合わせて非常に詳細な画像を提供することが可能であり、肝臓癌に対する TAE、リザーバー留置、出血に対する TAE、膀胱癌に対する動注療法などを行っています。

当院は 256 列 MDCT およびデジタルコイルを装備した 3T MRI を導入しており、全国の一般病院でトップクラスの設備を備えた施設であり、スタッフ一同、力を合わせて、質のよい検査、画像を提供し、迅速に結果をレポートできるように日々努力しています。

健診センター

当センターは、平成14年に現在の健診センターを開設し、天草地域の保険活動の拠点となるべく、行政の行う健康増進法に基づく健康診断や医療保険者、事業所等による健康診断、人間ドックを実施しています。実施にあたっては併設の天草地域医療センターの協力をえて、医療機関と同レベルの検査制度を保つ様努力しています。また講演会活動や糖尿病教室への参加等、保険予防活動にも積極的に参加することを旨としています。

平成24年度実績は下記のとおりです。

1. 住民健診	巡回胸部健診	7,480名	3. 事業所健診	生活習慣病予防健診	3,183 名
	総合健診	2,096名		法定健診	2,293 名
	各種検査	116名		各種検査	257 名
	巡回大腸がん検診	1,585名	4. 人間ドック	人間ドック受診者	1,824 名
2. 学校健診	腎臓健診	12,973名	5. 特定保健指導医	特定保健指導	43 名
	巡回結核健診	2,134名		・日帰りドック	1,153名
	血液検査	161名		・宿泊ドック	671名

原則として月曜日～金曜日に営業し、月に 1 回土曜日、日曜日にも営業しています。医師会の先生方にも医師国保ドックを利用いただいています。

◆非常勤特殊外来

呼吸器内科

●診療日：毎週金曜日〔済生会熊本病院 呼吸器センターより〕

●担 当：一門 和哉医師(H 2 年卒)・川村 宏大医師(H 11 年卒)・高木 誠医師(H 17 年卒)
本田 美津子医師(H 16 年卒)・荒川 尚子医師(H 16 年卒)

●担 当：長 勇医師(H 1 年卒)〔竹島医院〔毎月 第一木曜日〕〕

2013年7月第1週金曜日より呼吸器外来が開始となりました。毎週金曜日に、済生会熊本病院呼吸器センター医師がお伺いし、呼吸器予約外来をさせていただくことになりましたので、よろしくお願いいたします。呼吸器診療は、前任の有富 聡先生ご退任の後、専門的な診療が困難となっておりましたが、今回の外来診療開始に伴って、地域の先生方に少しでも貢献できればと思っております。

平成23年度の厚生労働省人口統計では、ご存知のように、癌による死亡が第一位であり、このうち、肺癌死亡者数は年々増加傾向にあります。また肺炎も脳卒中を抜いて、死因第3位となっており、呼吸器疾患の生命余後に与える影響の大きさを反映しております。済生会熊本病院呼吸器センターは、2004年10月に発足し、現在、吉岡正一郎長(呼吸器外来専門)の元、呼吸器外科医2名、呼吸器内科医師12名(2名救急総合診療部出向中、1名信州大学集中治療部国内留学中)にて診療を行っております。県内基幹病院の中で、呼吸器外科専門医数、呼吸器内科医数ともに最多の陣容で、救急医療、高度専門医療を進めております。

天草地区は、高齢者の方も多く、地域完結型の医療を希望される患者さんも少なくないと思っております。天草地域医療センターの先生方と、済生会熊本病院呼吸器センターが協力して、患者さんやご家族にニーズに応じた対応を検討したいと思っております。入院や精密検査を要する患者さんの判断だけでなく、地域に先生方に、外来で呼吸器疾患の患者さんの方針をご相談いただくことも歓迎いたしますので、お気軽にご相談ください。

よろしくお願い申し上げます。

神経内科

●診療日：月 4 回／土曜日〔熊本大学医学部附属病院〕

●担 当：有馬 寿之医師(H 7 年卒)・大嶋 俊範医師(H 18 年卒)
俵 望医師(H 19 年卒)・植田 明彦医師(H 13 年卒)

当院は、毎週土曜日（第5土曜日は休診）に神経内科医による外来予約診療を行っています。天草市内で神経内科の専門診療を行うことのできる数少ない病院の1つです。しかし、常勤ではないため、地域の先生方にはご迷惑をお掛けし、大変申し訳ありません。

当外来の重要な役割は、神経内科の専門外来として、パーキンソン病や多発性硬化症、脊髄小脳変性症といった神経難病の患者さんのfollow up です。また、地元の開業医の先生方からのご紹介により、頭痛やしびれ、手足の震え、脱力などの症状でお困りの患者さんの診察を行い、適切に対応することが当外来に求められているもうひとつの役割であると考えております。必要に応じ、熊本大学医学部附属病院への紹介を行ったり、開業医の先生方と連携を取りながら診療を行ったり、軽症であれば、開業医の先生に継続診療をお願いしたりと、限られた資源の中、患者さん本位のオーダーメイド診療を心がけております。

諸先生方のお陰で神経内科外来は大盛況で、ご紹介いただく先生方、患者さんには、大変ご迷惑をお掛けしていることと存じますが、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

リウマチ膠原病科

- 診療日：月1～2回／土曜日
- 担当：中村 正医師（S 55年卒／くまもと森都総合病院）

「リウマチ膠原病」とは聞きなれない病名ですが、免疫機構に異常を来し発病する全身性の病気です。その代表が関節リウマチで、日本に約100万人の患者がおり、男女比は1対4、中年女性に好発します。関節破壊は関節を包んでいる滑膜の炎症で始まり、炎症性滑膜が増殖し、軟骨骨を破壊し、関節の変形を起こします。病変は当初は関節ですが、時間と共に肺や腎臓、眼、皮膚、心臓など全身に及びます。関節の機能障害や全身合併症のために日常生活に支障を来し、生活の質が低下、寿命も短くなります。かつて「治らない難病」と呼ばれていましたが治療法が大変革を遂げ、抗がん剤メトトレキサートの応用と生物学的製剤の出現で、関節リウマチによる炎症、ひいては関節破壊を防ぐことができるようになりました。

早期に関節リウマチを診断し、適切な時期に適切な治療を行えば、日常生活を普通に送ることができます。関節リウマチ以外のリウマチ膠原病も様々な面で進歩が見られました。このような医療の進歩を地域住民が等しく享受できるように、当センターで活動しています。

消化器内科

- 診療日：月2回／土曜日〔熊本大学医学部附属病院〕
- 担当：吉丸 洋子医師（H 14年卒）・福林 光太郎医師（H 12年卒）

熊本大学附属病院消化器内科より派遣され、毎月第2土曜日と第4土曜日の午前中に勤務しております。肝臓疾患を専門とし、C型肝炎に対する抗ウイルス治療、B型肝炎に対する抗ウイルス治療、肝硬変の治療を主に行っております。また大学病院とも連携し肝臓癌の診療も行っております。熊本県は全国から見ても肝炎キャリアが多い地域です。C型肝炎、B型肝炎を放置するといずれは肝硬変、肝臓癌を発症します。まずは検診にてウイルスマーカーのチェックを行って頂き、もし陽性の場合は当科を受診してください。キャリアの方を早期発見し、抗ウイルス治療など治療介入をすることで肝臓癌をきちんと予防することができます。また最近では脂肪肝の方でも一部の方が肝硬変に進展し、肝臓癌を発症することが知られております。検診で脂肪肝を指摘された方も是非、一度当科外来を受診してください。天草地域の肝臓疾患の患者さんの診療に少しでも貢献できるようにこれからも頑張っていきますのでよろしくお願い申し上げます。

パーキンソン外来

- 診療日：月1回／土曜日
- 担当：後藤 恵医師（S 56年卒／徳島大学病院）

内科

- 診療日：月1回／土曜日〔再診のみ〕
- 担当：有富 聡（S 60年卒）

第39回院内学会開催

～平成25年6月29日（土）～

研修教育委員会



くまもと森都総合病院
中村 正先生

今回は、院内から219名、院外から22名の参加者がありました。今年は、第一部に電子カルテに関するテーマをまとめました。昨年11月に電子カルテが導入されてから6ヶ月が経過しましたが、電子カルテの便利さも実感していますが、良さを生かすための課題もあるように感じました。課題については、各部署引き続き取り組みが必要であること、また緊急時の対応や今後の発展性についても考える機会となりました。第二部では、チーム活動での取り組み状況や現場での新しい治療に対する看護などが発表されました。院内でチーム活動が行われていますが、今後活動範囲が広がることを期待します。第三部は、診療部からの発表でしたが、麻酔時に注意が必要な歯牙損傷について改めて術前からの対応も含めて考えました。また、MRIに対応するペースメーカーの開発によりペースメーカー挿入患者の検査が広く行えるようになっていく状況など知ることができました。

そして、特別講演では当センターにリウマチ膠原病科外来でお世話になっています中村正先生に「最近の関節リウマチ治療」についてご講演をしていただきました。疾患の理解から治療の変遷までが述べられ、以前は「疼痛・腫脹軽減が目標」でしたが、現在は早期から「寛解」を目指した治療戦略・診断基準で診療が行われていることがわかりました。

院内学会は、各職種の取り組みを知ることができ、また新しい知識を得る場所です。次回は第40回という節目を迎えますが、当センターの歩みを感じる学会でもあります。次回にも期待したいと思います。



- | | | |
|------------|---------------------------|---------------|
| 第1部 | ①「電子カルテ導入6ヵ月後の現状と課題」..... | 看護部:岩崎 幾子 |
| | ②「検査部における電子カルテの現状」..... | 検査部:平井 義彦 |
| | ③「電子カルテ導入について」..... | システム担当:野嶋 崇 |
| 第2部 | ④「難治性褥瘡患者に新しい治療とケアを試みて」 | 褥瘡対策チーム:倉田 亜矢 |
| | ⑤「低体温療法の看護」..... | 5階病棟:出田 和美 |
| | ⑥「緩和ケアチームの活動の実際」..... | 緩和ケアチーム:長嶋 由美 |
| 第3部 | ⑦「歯牙損傷と麻酔」..... | 麻酔科:田口 裕之 |
| | ⑧「MRI対応ペースメーカーについて」..... | 循環器内科:伊藤 彰彦 |

特別講演会

「最近の関節リウマチ治療」 講師：くまもと森都総合病院
リウマチ膠原病内科部長 中村 正先生

異動のご挨拶



放射線科
中村 信一

「お世話になりました」
平成22年10月に赴任して、
あっという間の2年9ヶ月
でした。

多くの先生方やスタッフ
の方々に支えられて、無事勤
め上げることができました

ことをつくづく実感しております。

開業医の先生方におかれましては、CTやMRIの
症例をたくさん紹介いただきましてありがとうご
ざいました。多くのことを学ばせていただきました。

7月より熊本労災病院に異動となります。天草地
域医療センターでの経験を生かして頑張っていき
たいと思います。大変お世話になりました。

「よろしくお願いします」

2010年に山口大学医学部を卒
業し、熊本大学医学部附属病院、
県立延岡病院で勤務してきました。

放射線科の診療業務としては
読影、血管内治療、腹部超音波検
査と多岐にわたっております。普
段は読影室の中にいますので皆さんと会うことは少
ないと思いますが、もし見かけたら声をかけてもら
えればありがたいです。

まだ、天草に来て一ヶ月で不慣れなこともありま
すが、少しでも天草の地域医療に貢献できる様に努
力します。また、天草にまだなれていませんので美味
しい食事処等があれば是非おしえていただければあ
りがたいです。今後ともよろしくお願いいたします。



放射線科
猪山 裕治

摂食・嚥下障害看護認定看護師誕生!!

今回、摂食・嚥下障害看護認定看護師の認定を受けました橋元美和です。
現在は脳神経外科を中心とした病棟に勤務しています。昨今の高齢化社会
に伴い、摂食・嚥下障害患者は確実に増加しています。“口から食べるこ
と”は人間にとって生命維持だけでなく、人生における最大の楽しみといっ
ても過言ではないと考えます。不幸にも加齢や疾患によって摂食・嚥下機能
を障害された患者さんに、もう一度“口から食べる喜び”を感じていただ
けるよう他職種とも連携しながら活動していきたいと思っています。



3階北病棟 副主任
橋元 美和

糖尿病ウォークラリー

まだまだ暑い日が続いていますが皆さん体調はいかがですか。熱中症対策として、
こまめに水分補給を行っていきましょう。

ところで当センターは地域保健の一環として2005年より、糖尿病ウォークラリ
ーを開催しています。毎年、参加者・スタッフをあわせて約50名です。お弁当を

食べたり、ゲームを一緒に行ったりして楽しいですよ。昨年は雨天にて中止となりましたが、今年は晴れ
ることを期待しています。

今年のウォークラリーのコースは、2コースあります。本渡地区の歴史と文化を学ぶコース(約2km)と
自分のペースで長く歩くコース(約8km)です。

と き: **10月27日(日)** 午前9時30分～午後2時まで

ところ: **スマイルパーク(本渡中央銀天街内)**をスタート

内 容: **本渡地区の歴史と文化を学ぶコース(約2km)**

または**自分のペースで長い距離を歩くコース(約8km)**

参加料: **500円**(弁当代込み)

申し込み期間 = **10月11日(金)まで**

※申し込み方法などの詳細は
☎0969-24-4111
天草地域医療センター外来
江上・花田まで
お尋ねください。

天草ハイヤ道中総踊り

天草宝島観光協会 会長賞受賞!!



とおなじ踊りにして、練習場所の確保が難しかったので期間は短くした。勤務の都合上なかなか参加が出来なかった
人もいたが、同じ部署などで覚えた人に時間を作って教えてもらっていた。
以前に聞いたことだが、「ハイヤ踊り」はいろんな踊りの源流のひとつであ
ると。このように伝統のある踊りをみんなで踊る事が出来ることは素晴らし
い。踊りは得手不得手がある。だから、本番はみんなで楽しく踊れた、それ
が一番。仮装したメンバーもお疲れ様でした。

また、踊り手が踊るためには裏方さんの協力が不可欠なもの忘れてはいけ
ない。準備から本番、後片付けまで本当に有難いことである。

世の中では、消費税増税・アベノミクスなどきな臭いことが進められて、
政治の世界では都合が悪くなるとすぐに辞めてしまうが、医療センターはそ
うはいかない。アベノミクスならぬハラダミクス?で頑張ろう。

徐々にはあるけれど、踊りに活気が蘇りつつある。2年連続で賞をいた
だき、「スーパーハイヤ人」も2人のW受賞となっ
た。普段の仕事でもチームワークを発揮して天草
を元気にして行こう。

文責/荒木 恵三



毎日暑い日が続きますが、皆様いかが
お過ごしでしょうか?おかげ様で、昨年
より建築中でした、新外来棟・ヘリポ
ートも無事に完成し、現在は、8月26日
の稼働に向けて職員一丸となって日々頑張っております。

皆様のおかげで、なんとか今回も無事に発行までたどり着
くことが出来ました。今回の「あまいせ便り」では、当センタ
ーでの診療科のご紹介と新外来棟・ヘリポートの完成記事を

メインに、院内学会報告・認定看護師の紹介・ウォークラリー
開催予定等を掲載させていただきましたが、いかがでしたで
しょうか?

前回の経験を生かし、少しでも発行までスムーズに進める
ことを目標にしておりましたが、やはり今回もかなり苦戦し
てしまい、あらためて「広報誌発行の難しさ」を痛感しました。

発行にあたり、ご協力いただきました皆様、本当にありが
とうございました。 文責 新聞広報委員 清田 千草